

授業科目	映画で学ぶ世界遺産					実務家教員担当科目	-		
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期		
担当教員	八尋 春海								
授業概要	映画の舞台となっている世界遺産を取り上げ、その遺産の詳細、その周辺国の状況, その他の観光資源などについて学ぶ。一方で世界遺産そのものが映画のロケ地になっていることは少ないため、重要な観光スポットがロケ地になっている映画を取り上げて、その観光地について学ぶこともある。								
授業形態	対面授業				授業方法	地図帳、用語集、プリントを参考にしながら、スクリーンに世界遺産を映して解説を行い、世界遺産がロケ地となっている映画を視聴する。ICTとアクティブラーニングの手法により特定地域の世界遺産について学習する。			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	世界遺産検定4級に合格できる。								
理想的レベル	世界遺産検定3級以上に合格できる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）			備考			
試験			60						
小テスト									
レポート									
発表（口頭、プレゼンテーション）			20						
レポート外の提出物			20						
その他									
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
予習 次回の授業で取り上げる予定の地域の地理的特徴を調べる。 復習 授業で示したポイントを再確認する。									4
授業計画									
第1回	アフリカの世界遺産について学ぶ。								
第2回	西アジアの世界遺産について学ぶ。								
第3回	東ヨーロッパの世界遺産について学ぶ。								
第4回	北欧の世界遺産について学ぶ。								
第5回	西ヨーロッパの世界遺産について学ぶ。								

第 6 回	中央ヨーロッパの世界遺産について学ぶ。
第 7 回	東南アジアの世界遺産について学ぶ。
第 8 回	南アジアの世界遺産について学ぶ。 小テスト
第 9 回	東アジアの世界遺産について学ぶ。
第 10 回	北米の世界遺産について学ぶ。 プレゼンテーション
第 11 回	中米の世界遺産について学ぶ。
第 12 回	南米の世界遺産について学ぶ。
第 13 回	オセアニアの世界遺産について学ぶ。
第 14 回	日本の世界遺産について学ぶ。
第 15 回	まとめ
テキスト	旅行業務取扱管理者試験の過去問題集
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	毎時間、授業のポイントに関するコメントカードを提出する。提出されたコメントカードに対して次回の授業の際に、理想的なポイントを提示する。また、質問があれば回答し、理解が不十分と思われる内容については追加で解説を行う。
課題に対するフィードバックの方法	世界の国々がどこにあるかを再確認する。世界史の概要を再確認する。
学生へのメッセージ・コメント	